


[ 参加要領 ]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 290 個別大学の入試改革—最前線と進化策  
 2015年5月12日(火) 10:00~16:40  
 会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362  
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)  
 日時： ■高等教育活性化シリーズ 291 大学入試の新パラダイムを拓く  
 2015年5月15日(金) 12:30~16:50  
 会場：中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)千代田区神田駿河台3-11-5 TEL 03-3292-3111  
 (JR「御茶の水」駅徒歩3分、東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅B1出口徒歩3分)

参加費	ご一名(資料代を含む) 下段は高等教育同人(☆)	メディア参加 同(資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 290 個別大学の入試改革—最前線と進化策	30,000円(消費税込) 同人10,000円(消費税込)	31,000円(税、送料込) 同人11,000円(税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 291 大学入試の新パラダイムを拓く	42,000円(消費税込) 同人12,000円(消費税込)	43,000円(税、送料込) 同人13,000円(税、送料込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。  
 ※開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。  
 ※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。  
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。  
**申込方法**：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAXまたはEmailにてご送付ください。  
 ※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。  
**支払方法**：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替：00110-8-81660  
 口座名 (株)地域科学研究会  
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)  
 ☆高等教育計画経営研究所の同人は[http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei\\_top.html](http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei_top.html)

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106  
 高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書 2015年 月 日  
 (□に✓印を入れてください)  
 高等教育活性化シリーズ 290 個別大学の入試改革—最前線と進化策  
 高等教育活性化シリーズ 291 大学入試の新パラダイムを拓く  
 一般  同人  
 当日参加  メディア参加  
 当日参加  メディア参加  
**支払方法**  当日払い  銀行振込  郵便振替  
**必要書類**  請求書  見積書  
 勤務先 \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_  
 〒 \_\_\_\_\_  
 所在地 \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_  
 TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

< セミナーのご案内 >

●配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 290 (通算 620 回) 2015年5月12日(火)

学生募集確保へのインパクト—

## 個別大学の入試改革—最前線と進化策

高等教育活性化シリーズ 291 (通算 621 回) 2015年5月15日(金)

検証、そして進化へ—

## 大学入試の新パラダイムを拓く

学生募集確保へのインパクト—

## 個別大学の入試改革—最前線と進化策

～一般・推薦・AO入試選考の創意工夫/学力担保と総合評価・判定～

- ※多面的・総合的な判定と高大接続/入試の機能と多様化/教科学力入試/新機能の創出
- ※[上智大]TEAP利用型入試の開発と本格展開/国際教養以外の全学部/他大学での導入
- ※[追手門学院大]アサーティブプログラムからアサーティブ入試/基礎学力適性検査と総合評価
- ※[国際教養大]16種類の入試形態~その運用と実際/暫定入学制度/入学後の成績との関連
- ※[横浜市立大]同じ試験問題による“多様な”特別入試/特色ある出願要件と“一発勝負”

● 講師陣 ●

山本以和子 氏 / (国) 京都工芸繊維大学 アドミッションセンター 准教授  
 藤村 正之 氏 / 上智大学 学務担当副学長  
 志村 知美 氏 / 追手門学院大学 入試部 アサーティブオフィサー  
 中津 将樹 氏 / (公) 国際教養大学 入試室長  
 出光 直樹 氏 / (公) 横浜市立大学 アドミッションズセンター 専門職・学務准教授

2015年5月12日(火) 剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)

検証、そして進化へ—

## 大学入試の新パラダイムを拓く

～ユニバーサル期の高校(90数%)と大学(50%超)の教育架橋～

- ※大学入試センター試験25年の検証/中教審高大接続部会答申への疑問/「知」の新たな流通
- ※ホリスティック入学選考のコンセプトと導入策/達成度判定とソフトスキルズ/CRB型AO
- ※ポートフォリオ入学選考の提言/多様な大学と多彩な高校生を架橋/非連続そして接続

● 講師陣 ●

荒井 克弘 氏 / (独) 大学入試センター 前 副所長 試験・研究統括官  
 田中 義郎 氏 / 桜美林大学 総長補佐 総合研究機構長 教授  
 青野 友太郎 / 高等教育計画経営研究所 常任同人

2015年5月15日(金) 中央大学駿河台記念館 会議室(東京・お茶の水)

 地域科学研究会 高等教育情報センター

時間	講義項目
10:00 } 11:10	<p>□ 多面的・総合的な判定と高大接続 ～教科学力入試と多面的・総合的な判定入試の関係とデザイン～ (国) 京都工芸繊維大学 山本 以和子</p> <p>1. 多面的・総合的な判定入試の現状 (1) 出願資格の現状 (2) 入試形態の現状 (3) 出願資料と調査書の現状 (4) 課題と海外の大学入試ベンチマーク</p> <p>2. 入試の機能と多様化 (1) 入試の機能を考える (2) 多様化を考える (3) 新しい入試の機能の創出</p> <p>3. 教科学力入試と多面的・総合的な判定入試の関係とデザイン (1) 大学進学レディネスから見た関係 (2) 高大接続の視点から見た関係 (3) 入試のコンセプトとデザイン (質疑応答)</p>
	<p>□ &lt;ケーススタディ&gt; 個別大学の入試改革の最前線</p>
11:10 } 12:20	<p>A. [上智大] TEAP 利用型入試の導入とその実際 ～ 高大の新たな接続と選抜の多様化 ～ 上智大学 藤村 正之</p> <p>1. アカデミック英語能力判定試験 (TEAP) とは (1) TEAP 検討の経緯 (2) TEAP の内容 (3) 外部検定試験間との関係</p> <p>2. TEAP 利用型入試とは (1) 一般入試への制度導入 (2) 入試制度の内容 (3) ステークホルダーの声</p> <p>3. TEAP 利用型入試の実際 (1) TEAP 受験者の動向 (2) 入試志願者と入試結果 (3) 入試後の TEAP の利用・活用 (4) 今後の展望 (質疑応答)</p>
13:20 } 14:20	<p>B. [追手門学院大] 選抜型入試から育成型入試へ ～ アサーティブプログラムとアサーティブ入試 ～ 追手門学院大学 志村 知美</p> <p>1. 追手門学院大学の概要 (1) 追手門学院の歴史 (2) 追手門学院大学の志願者数の推移</p> <p>2. なぜこの取組を考えたか (1) 学生と受験生の実態 (2) 「分厚い中間層」の中規模大学の挑戦 (3) 期待する入学者像</p> <p>3. アサーティブプログラムとアサーティブ入試 (1) アサーティブプログラムの3つの要素 (2) アサーティブ入試の内容 (3) 本事業の特徴 (4) 2014年度の取組結果 (5) 2015年度の取組と今後の展望 (質疑応答)</p>
14:30 } 15:30	<p>C. [国際教養大] 「求める学生像」に合致する学生の確保を目指して ～ その多様な入試形態の運用と実際 ～ (公) 国際教養大学 中津 将樹</p> <p>1. 国際教養大学は何を目指すか (1) 求める学生像 (2) ユニークな特徴</p> <p>2. どのように学生を選抜するか (1) 16種類の入試と独自日程 (2) グローバル・セミナー入試 (3) ギャップイヤー入試 (4) 英語資格等保持者への特例措置 (5) 暫定入学制度 (6) 渡日前選考 (7) 入試問題</p> <p>3. どのような入試の成果があるか (1) 入学後の成績との関連 (2) 学生へのインパクト (3) 大学にとってのメリットとデメリット (質疑応答)</p>
15:40 } 16:40	<p>D. [横浜市大] 同じ試験問題による“多様な”特別入試の展開 ～ 特色ある出願要件の設定と一発勝負の組み合わせ ～ (公) 横浜市立大学 出光 直樹</p> <p>1. 横浜市立大学国際総合科学部における推薦・AO以外の特別入試 (1) 海外帰国生入試・外国人留学生入試 (2) 社会人入試 (3) 国際バカロレア入試 (4) 科学オリンピック入試</p> <p>2. 日本の大学における特別入試のマーケティング (1) “看板”の重要性 (2) 実施時期と併願の可否 (3) 一発勝負のわかりやすさ (4) 入試の担い手と合意形成 (質疑応答)</p>

時間	講義項目
12:30 } 14:00	<p>□ 大学入試改革への疑問 ～中央教育審議会は何を答申したのか～ (独) 大学入試センター 荒井 克弘</p> <p>1. 大学経営と入学者選抜 (1) 志願者マーケットの縮小 (2) 経営と教学のバランス (学生確保と選抜性) (3) 大学・短大入試の変容 (4) 学力低下問題への対応 (学力層の変化)</p> <p>2. 入試改革案のリアリティ (1) 教育再生実行会議の提言;技術論の欠落(眼目は政治的アピールに) (2) 中教審高大接続特別部会答申;提言のブレイクダウンにはならず、矛盾した記述が多数</p> <p>3. なぜ入試改革は失敗するのか (1) 大学入試の逆説 (2) 加熱と冷却のバランス (3) 大学進学の虚構と現実 (4) 戦後日本の共通試験</p> <p>4. 新たな「知」の流通システム (1) 大学進学ユニバーサル化の課題 (2) 広範な進学者を対象とした高等教育システムの構築 (3) 教育接続には教育診断のシステムが不可欠 (4) 流通システムに「商業主義」が入り込む懸念 (質疑応答)</p>
14:10 } 15:10	<p>□ ホリスティック入学選考のコンセプトと導入策 ～達成度判定とソフトスキルズ/CRB型AO入試とは～ 桜美林大学 田中 義郎</p> <p>1. ホリスティック入学選考の時代 (1) センター試験等の達成度判定のみの問題 (2) 非認知的機能・汎用的スキルの重要度と測定の困難 (3) ソフト・スキルズのグリット・スケールの注目</p> <p>2. ソフト・スキルズの開発と活用 (1) 5つのソフト・スキルズの開発と向上 (2) ホリスティック・リーディング・プロセスでの総合的選考 (3) アドミッションオフィサー議論と合意</p> <p>3. CRB型新AO入試の導入等 (1) CRB (College Readiness Benchmark) とは (2) 大学入学水準の資格化 (3) スロー・エデュケーションの視座 (質疑応答)</p>
15:20 } 15:40	<p>□ “ポートフォリオ” 入学選考の提案 ～多様な大学と多彩な高校生の出会い/非連続と接続～ 高等教育計画経営研究所 青野 友太郎</p> <p>1. 高校教育と大学教育の接続の要諦 ～ アドミッションポリシーを活かす/脱不本意入学 ～</p> <p>2. 大学入試センター試験のPDCA ～ 大学長・学部長及び高校長への悉皆アンケートこそ ～</p> <p>3. “ポートフォリオ” 入学選考を拓く ～ 高校～大学～社会への架橋とは/様式フリー ～</p>
15:50 } 16:50	<p>□ [パネル討論] 高大接続・大学入試の新パラダイムを拓く ～ 高校生・大学生の“元気”と教員・職員の“元気”を ～</p> <p>司 会 青野友太郎 パネリスト 荒井 克弘氏/田中 義郎氏</p>

[ 参加要領 ]

日時： ■高等教育活性化シリーズ 292 ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化  
2015年5月20日(水) 13:00~18:50

■高等教育活性化シリーズ 294 学生参画型FDの具体方策と実際  
2015年5月29日(金) 10:00~18:20

会場：剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)  
千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362  
(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)  
※パーティ会場：日本都市センターホテル1F「レストラン アイリス」


参加費	ご一名(資料代を含む) 下段は高等教育同人(☆)	メディア参加 同(資料及び音声CD送付)
高等教育活性化シリーズ 292 ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化	38,000円(税・パーティ代込) 同人20,000円(税・パーティ代込)	36,000円(税、送料込) 同人18,000円(税、送料込)
高等教育活性化シリーズ 294 学生参画型FDの具体方策と実際	43,000円(税・パーティ代込) 同人23,000円(税・パーティ代込)	41,000円(税、送料込) 同人21,000円(税、送料込)

※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の参加形式です。  
開催後に当日配布資料及び音声CDをご送付します。  
※なお、当日参加とともに、音声CDをご希望の方には、特別割引いたします。  
※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、FAXまたはEmailにてご送付ください。  
※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となりますので、必ずご確認ください。

支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767  
三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替：00110-8-81660  
口座名 (株)地域科学研究会  
(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)  
☆高等教育計画経営研究所の同人とは [http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei\\_top.html](http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei_top.html)

お申込み・お問合せ  地域科学研究会 東京都千代田区一番町6-4ライオンズ第2-106  
高等教育情報センター TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2015年 月 日

(□に✓印を入れてください)

高等教育活性化シリーズ 292  
ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化

一般  同人

当日参加  メディア参加

高等教育活性化シリーズ 294  
学生参画型FDの具体方策と実際

当日参加  メディア参加

支払方法  当日払い  銀行振込  郵便振替

必要書類  請求書  見積書

勤務先 \_\_\_\_\_ 連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

〒 \_\_\_\_\_

所在地 \_\_\_\_\_ メールアドレス \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

〈 セミナーのご案内 〉

●配布先を限定しておりますので、関係各位へのご閲覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 292 (通算 622 回) 2015年5月20日(水)

ネクスト・ステージを拓く—  
ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化

高等教育活性化シリーズ 294 (通算 624 回) 2015年5月29日(金)

「どう教えるか」からの発想転換—  
学生参画型FDの具体方策と実際

ネクスト・ステージを拓く—  
ファカルティ・ディベロップメントの検証と深化  
~ これからの『FD』の話をしよう!! ~

※これまでのFD~萌芽・始動・発展期/米国・英国他、国際比較からの検証/日本のFD強みと弱み  
※FD評価に使える測定理論/効果のあるFDとは/自大学のFD効果測定方法を考える  
※これからのFD~再定義/戦略的展開/担当者の組織化・雇用・育成/アクション・プランの作成

● 講師 ●  
佐藤 浩章 氏 / (国) 大阪大学 教育学習支援センター 副センター長  
全学教育推進機構 教育学習支援部門 准教授


2015年5月20日(水) 剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)

「どう教えるか」からの発想転換—  
学生参画型FDの具体方策と実際  
~アクティブラーニングだけではない/学修支援をどうする~

※学生参画FDの必要性/岡山、北陸他各地のFDとの連携/文科省はどう捉えているか  
※[帝京大]FDからEDへ/学習者中心の授業への転換/学生のEmployabilityを育てる  
※[桜美林大]知識と技能の修得を目指したアクティブラーニング/オムニバス授業のよるFD協働  
※誰の、何のための学生FD活動か/実践事例を通して/教育改善に結びつけるためのポイント

● 講師陣 ●  
橋本 勝 氏 / (国) 富山大学 教育・学生支援機構 教授  
UD Mates(学生・市民参画型FD/SD推進組織) 教員代表  
井上 史子 氏 / 帝京大学 高等教育開発センター 教授  
齋藤 隆夫 氏 / 桜美林大学 ビジネスマネジメント学群 BM学類長 法学・政治学系 教授  
國學院大学 法学部 兼任講師  
曾根 健吾 氏 / 横浜国立大学 大学教育総合センター 助手

2015年5月29日(金) 剛堂会館(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)

 地域科学研究会 高等教育情報センター

時間	講義項目
13:00 ~ 14:15	<p>1. これまでの「FD」の話をしよう(その1)</p> <p>(1) 歴史からの検証</p> <p>①萌芽期(1960年代~1970年代)</p> <p>②始動期(1980~1990年代半ば)</p> <p>③競争による急速な発展期(1990年代後半~2000年代半ば)</p> <p>④連携による持続的な発展期(2000年代後半~現在)</p> <p>(2) 国際比較からの検証</p> <p>①アメリカ</p> <p>②イギリス</p> <p>③その他の国</p> <p>(3) ディスカッション —日本のFDの強みと弱みとは—</p>
14:25 ~ 16:00	<p>2. これまでの「FD」の話をしよう(その2)</p> <p>(1) FDの評価に使える研修効果の測定理論とは</p> <p>(2) 先行研究にみるFDの検証 —効果のあるFDとは何か—</p> <p>①授業参観と公開授業の効果とは</p> <p>②授業コンサルテーションの効果とは</p> <p>③ティーチング・ポートフォリオの効果とは</p> <p>(3) 個人・グループワーク —自大学のFDの効果を測定する方法を考えよう—</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:15 ~ 17:30	<p>3. これからの「FD」の話をしよう—今後10年のFDの展望—</p> <p>(1) FDの再定義と実践の拡張</p> <p>①狭義のFDから広義のFDへ(再論)</p> <p>②AD(Academic Development)の可能性</p> <p>(2) FDの戦略的展開アプローチ —3×3モデル—</p> <p>①誰をクライアントにし、どのような教育活動に介入するのか</p> <p>②トップダウンか、ボトムアップか、それともミドルアップダウンか</p> <p>③ズームインか、ズームアウトか、それともミドルズームインアウトか</p> <p>(3) FD担当者の組織化・雇用・育成 —多元的主体論とプロフェッショナル化—</p> <p>①誰がFDを担うのか、どのように役割分担をするのか</p> <p>②FD担当者をどのように雇用・育成・組織化するのか</p> <p>(4) ディスカッション —今後10年のFDで目指すこと、取り組むこと—</p>
17:40 ~ 18:00	<p>4. 振り返りとアクション・プランの作成</p>
18:10 ~ 18:50	<p>[懇談パーティ] これからのFDの話をしよう</p> <p style="text-align: center;">~ 佐藤 浩章氏を囲んで ~</p>

時間	講義項目
10:00 ~ 11:30	<p>□ 学生参画型FDのこれまでとこれから</p> <p style="text-align: right;">(国) 富山大学 橋本 勝</p> <p>1. なぜ今、学生参画型FDが必要なのか</p> <p>(1) 原点としての『廣中レポート』 (2) 岡山型・立命型・帝京型</p> <p>(3) 橋本イズム・木野イズム・沖イズム</p> <p>2. ツーのFDとの連携</p> <p>(1) 桃太郎フォーラムの蓄積 (2) 北陸での新展開</p> <p>(3) 他地域での目立った動き</p> <p>3. 文科省や国はこの動きをどう見ているか</p> <p>(1) 大学評価・学位授与機構も重視 (2) 認証評価項目に入ったり消えたり…</p> <p>(3) 文科省の大学調査項目に登場 (4) AP2件で橋本が基調報告 〈質疑応答〉</p>
11:40 ~ 13:10	<p>□ [帝京大] エデュケーショナルディベロップメントの展開方策</p> <p style="text-align: right;">~FDからEDへ / チェンジエージェントとしての学生 / Employabilityの育成~</p> <p style="text-align: right;">帝京大学 井上 史子 帝京大学 学生</p> <p>1. FDからEDへ</p> <p>(1) 拡張するFD定義 (2) エデュケーショナルディベロップメントの展開</p> <p>(3) FDにおける組織的な知の創造とFD担当者の役割</p> <p>2. チェンジエージェントとしての学生</p> <p>(1) 学習者中心の授業への転換を促す</p> <p>(2) SCOT(Students Consulting on Teaching)プログラム</p> <p>(3) 学生がFDに関与する意義と効果</p> <p>3. 大学における学生のEmployabilityの育成</p> <p>(1) 欧州における2020年を目指した高等教育戦略</p> <p>(2) Employabilityの定義とフレームワーク</p> <p>(3) 正課と正課外学習を架橋するSCOTプログラム</p> <p>(4) 大学から仕事・社会への移行(トランジション)のために 〈質疑応答〉</p>
14:10 ~ 15:30	<p>□ [桜美林大] 市民教養としての法務授業とFD協働の実践</p> <p style="text-align: right;">~スキルとしての法律の修得を目指した教育の場の設営~</p> <p style="text-align: right;">桜美林大学 齋藤 隆夫 桜美林大学 学生</p> <p>1. 我が国の法学教育</p> <p>(1) 官吏のための法律学 (2) 高等教育の大衆化と法学教育</p> <p>(3) 市民法務の必要性</p> <p>2. 市民生活のスキルとしての法律</p> <p>(1) 知識と技能の双方の修得 (2) 身近なテーマで法律を使う</p> <p>(3) 日常を題材にした教材</p> <p>3. 実践的な法務教育とFD協働</p> <p>(1) 身近な題材でアクティブラーニング (2) オムニバス授業をとおしたFD協働</p> <p>(3) 実践をとおした法律知識習得への新たな展開 〈質疑応答〉</p>
15:40 ~ 17:10	<p>□ 本当の教育改善に繋がる、学生とともにすすめるFD活動とは</p> <p style="text-align: right;">~学生として学生FD活動を立ち上げ、推進した経験から~</p> <p style="text-align: right;">横浜国立大学 曾根 健吾 学生</p> <p>1. 【はじめに】学生FD活動は、本当に必要なのか</p> <p>(1) 学生FD活動について、よく聞かれる声 (2) 何のための、学生FD活動か</p> <p>(3) 誰のための、学生FD活動か</p> <p>2. 【事例報告】東洋大学における、学生FD活動</p> <p>(1) 土壌はほぼなかった (2) 2年間、困難の連続だった</p> <p>(3) 全学レベルの活動から、学部単位の活動へ</p> <p>3. 【まとめ】本当の教育改善に結びつけるための、重要なポイントとは</p> <p>(1) 学生の主体性をどうとらえるか (2) 教職員の支援、関与のあり方について考える</p> <p>(3) 学生スタッフに、専門性は必要なのか 〈質疑応答〉</p>
17:20 ~ 18:20	<p>[懇談パーティ] 学生参画型FDの明日を拓く</p> <p style="text-align: center;">~各講師陣を囲んで~</p>

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 293 (通算 623 回)

2015 年 5 月 25 日 (月)

全国がキャンパス，大学・大学院の協働——

## ネットワーク型教学連携の新展開

～共同学部・共同教育課程／大学間連携～

- ※ 教学連携の新パラダイムを拓く／自ブロック内と他 8 ブロックとの連携・協働
- ※ [沖縄大] 国内留学から相互交流の 35 年余の学生評価／教員・学術交流の成果
- ※ [関西大] 医工薬系 3 大学の連携／「横の循環」と「縦の循環」／遠隔講義システム
- ※ [山口大] 獣医学教育改革／日本初の共同学部設置へ／教育国際認証と国際展開
- ※ [神田外語大] 7 国私大との語学教育連携～その始まりと展開／通訳ボランティア育成／今後

### ● 講師陣 ●

- 青野 友太郎 / 高等教育計画経営研究所 常任同人  
 奥山 正剛氏 / 沖縄大学 副学長 法経学部 法経学科 教授  
 倉田 純一氏 / 三大学医工薬連環科学研究機構 機構長  
 関西大学 システム理工学部 准教授  
 佐藤 晃一氏 / (国)山口大学 共同獣医学部 副学部長  
 岡戸 巧氏 / 神田外語大学 事務局長

2015 年 5 月 25 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会  
高等教育情報センター

日時：2015 年 5 月 25 日 (月) 10:00～16:30  
 会場：剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362  
 アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷  
 駅」麹町口より徒歩 10 分  
 ※受講証及び会場の地図の送付をもって参加受付となり  
 ますので、必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名 (資料代込) 43,000 円 (消費税込)  
 B. メディア参加 (資料・音声 CD 送付)  
 44,000 円 (送料、消費税込)  
 C. 高等教育同人 (☆) 特別価格  
 ※メディア参加とは、開催当日に会場に来られない方の  
 参加形式です。  
 開催後に当日配布資料及び音声 CD をご送付します。  
 ※なお、当日参加とともに、音声 CD をご希望の方には、  
 特別割引いたします。  
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合が悪い  
 ときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、  
 FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660  
 口座名 <(株)地域科学研究会>  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 Tel:03(3234)1231 Fax:03(3234)4993 〒102-0082  
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 HP : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

☆ 高等教育計画経営研究所の同人とは [http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei\\_top.html](http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/keikakukeiei/keikakukeiei_top.html)

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 293

### ネットワーク型教学連携の新展開

(□に✓印を)

2015 年 月 日

- 一般 □同人 □当日参加 □メディア参加  
 支払方法 □郵便振替 □当日払い □銀行振込  
 必要書類 □請求書 □見積書

勤務先

所在地 〒

連絡部課・担当者名

TEL

FAX

メールアドレス

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 } 10:20	<p>□ ネットワーク型教学連携シナリオを拓く ～ 全国9ブロック計画/他8ブロックとの連携～ 高等教育計画経営研究所 青野 友太郎</p> <p>1. 中小と単科大学・短大間の教学連携パラダイム 2. 全国9ブロック高等教育圏計画の新展開</p>
	<p>□ &lt;ケーススタディ&gt;</p>
10:30 } 11:40	<p>A. [沖縄大] 本土10大学との国内留学制度～35年の歩みと実際 ～ 送り出し、そして受入れ/地球・地域市民の育成～ 沖縄大学 奥山 正剛</p> <p>1. 国内留学(派遣・受入れ)の35年余の歩み (1) 制度発足時の趣旨 (2) 各提携大学との協定内容 2. 新崎学長時代の“学長会議 in 沖大”の意義 3. 学生からの評価 (1) 派遣学生たち (2) 受入学生たち 4. 教員交流・学術交流の成果 5. 今後の展開 (質疑応答)</p>
11:50 } 13:00	<p>B. [関西大] 医工薬連環科学教育研究機構の展開 ～ 他分野の理解と自分分野の確立～ 関西大学 倉田 純一</p> <p>1. 三大学医工薬連環科学教育研究機構の歩み (1) 共同学部構想から戦略的の大学連携支援事業 (2) 教育開発部門と教育サポート部門の連携 (3) 各大学における機構の位置づけ 2. 機構が実施する「横の循環」と「縦の循環」 (1) 遠隔講義システムによる単位互換授業 (2) 「医工薬連環科学教育課程」の設置と資料集作成 (3) 初等教育での理科支援を主とした社会連携 3. 今後の課題と展望 (1) 「横の循環」の進化と拡大 (2) 「縦の循環」の進化と拡大 (質疑応答)</p>
14:00 } 15:10	<p>C. [山口大] 鹿児島大学との共同獣医学部による獣医学教育の国際化 ～ 全国初の共同学部/教育国際認証/他大学の取り組み～ (国) 山口大学 佐藤 晃一</p> <p>1. 獣医学教育の歴史背景と問題点～何故改革が必要だったか? (1) 戦後獣医学教育の立ち上げ (2) 6年制教育への移行と問題 (3) 獣医学教育改革の開始から共同教育課程の設置へ 2. 大学教育課程の共同実施制度と獣医学教育の国際化 (1) 教育課程の共同実施制度と共同獣医学部 (2) 獣医学教育の国際化と学生のメリット (3) 国公私立各獣医系大学の取り組み 3. 今後の課題と展望 (1) 獣医学教育に求められるもの (2) 共同獣医学部のこれから (質疑応答)</p>
15:20 } 16:30	<p>D. [神田外語大] 大学間教育連携協定の多彩な展開 ～ 7国私大学との語学教育/7国公私大での通訳ボランティアの育成～ 神田外語大学 岡戸 巧</p> <p>1. 7国私大学との語学教育連携 (1) 大学間教育連携の始まりとその後の展開 (2) 教育体制及びメソッドの基本 (3) 大学間連携の形態 2. 全国外大連合(7国公私大)での通訳ボランティアの育成 (1) 通訳ボランティア支援事務局立ち上げの経緯 (2) 通訳ボランティア育成事業が目指すもの (3) ラグビーWカップ2019、東京五輪2020、そして 3. 今後の方向性 (1) 外語大としての役割 (2) グローバル人材の育成に向けて (3) 海外に向けた大学間連携の展望 (質疑応答)</p>